



6月1日 東陽交流センターせせらぎ応援企画
地元の食材を堪能して



新型コロナウイルス感染症の影響で営業を自粛していた東陽交流センターせせらぎの温泉施設が6月1日から営業を再開。6日には東陽山村振興協議会が菜摘館横のテントで、ヤマメの塩焼きの実演販売やショウガ入りこんにゃくの販売などを行いました。

5月28日 文部科学大臣表彰
児童の主体性を生かした活動が評価



令和2年度「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰の伝達式が市役所千丁支所で行われ、受賞した八代小学校の栄誉を北岡博教育長がたたえました。同校の小倉史朗校長は「今後も読書する機会を増やす取り組みを続けていきます」と意気込みました。

5月22日 八代広域行政事務組合消防表彰
心を一つにみんなで救出



八代広域消防本部で消防表彰が行われ谷井祐典消防長から表彰状が手渡されました。4月27日に泉町で起きた交通事故の際、人命救助や交通誘導などを行い表彰されたものです。谷井消防長は「迅速かつ的確な救助活動をしていただき、ありがとうございました」とたたえました。

ありがとうございました

5月22日 マスク贈呈式 第2波、第3波に備えて



八代市造園防災協議会と八代みどりの会がマスク12,000枚を本市に寄贈しました。八代市造園防災協議会の上野保夫会長が「何かお役に立てたら幸いです」、八代みどりの会の片山智会長が「備蓄でき長くつかえるものと思い、マスクを寄贈しました」とそれぞれ話しました。寄贈されたマスクは新型コロナウイルス感染症流行の第2波、第3波に備え、必要な場所で使用します。

※以下の団体以外にも寄贈いただきました。



5月29日 マスクと消毒用アルコール液の贈呈
困っている市民に届けてほしい



株式会社城南学習社の山並豊代表が市役所鏡支所を訪れ、マスク5,000枚と消毒用アルコール液100Lを中村博生市長に手渡し、山並代表は「困っている市民に届けてほしい」と話しました。寄贈されたものは、必要性の高い場所で活用します。

6月12日 マスク贈呈
子どもたちの安全のために



八代地区安全運転管理者等協議会第10分会の山下修会長が、八竜小学校を訪れマスクを贈呈しました。同協議会第10分会では、活動地域である坂本の子どもの安全を守りたいとの思いから、坂本にある小・中学校と4つの保育園に計3,000枚(各500枚)のマスクを贈呈しました。

6月1日 ホスタウンプログラム等の協定締結
東京2020オリンピック・パラリンピック



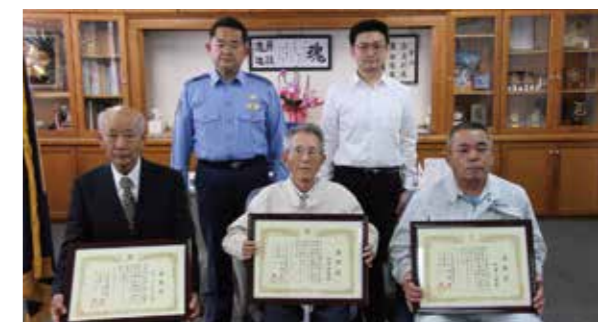
コカ・コーラボトラーズジャパン九州地区統括本部熊本・大分支社の藤高恵志支社長が本市を訪れ「ホスタウンプログラム等の推進に関する協定」を九州の自治体では初めて締結しました。今後、本市と同社はスポーツによる地域のにぎわいの創出や国際交流などを連携して取り組んでいきます。

6月4日 令和2年度漁業感謝祭
「しゃく釣り」でコロナ疲れを癒して



鏡まちづくり協議会と鏡町漁業協同組合が海の恵みへの感謝とコロナ疲れを癒してもらおうと、「令和2年度漁業感謝祭」を鏡町北新地西区の沿岸で開催。夫婦で参加した勝田さんは「しゃくに遊ばれて思うように獲れないが、獲れなくても広い海に来るだけで気持ちいい」と笑顔で話しました。

5月29日 防犯功労団体表彰
安全・安心なまちづくりに大きく貢献



八代警察署管内で長きにわたり、防犯パトロールや通学路の安全確保など自主防犯活動を通じて、安全・安心なまちづくりに大きく貢献したとして、中川豊八代警察署長から宮地つ子を守る会、加世田隆さん(奈良木町)らに表彰状が手渡されました。

6月1日 「Cheer up!花火」
希望の花火が闇を照らす



全国の花火業者が、新型コロナウイルス感染症の収束を願い、午後8時に全国各地で一斉に花火を打ち上げる「Cheer up!花火」を実施しました。本市でも市民の皆さんに希望や元気を届けようと、有限会社津山花火が球磨河川川緑地から25発の花火を打ち上げました。